

安全対策部
安全対策委員会事業報告書
(2024/8/16 日現在)

担当理事	富樫 泰一	茨城県
部長	上杉 一哲	神奈川県
委員長	川内 慎吾	新潟県
副委員長	新井 和夫	栃木県
委員	後藤 博昭	北海道
委員	小笠原 崇文	青森県
委員	三神 良太	宮城県
委員	新村 昌宏	長野県
委員	清水 哲治	東京都
委員	内方 陽一	岐阜県
委員	米田 幸雄	兵庫県
委員	平川 朝水	広島県

2024 年度安全対策部安全対策委員会の事業結果について次のとおり報告します。

■ 2024 年度第1回安全対策委員会 専門委員会議

【日 時】 2023 年 10 月 14 日(土) 13:00~16:00

【会 場】 zoom によるオンライン会議

【出 席】 富樫 泰一、上杉 一哲、川内 慎吾、新井 和夫、後藤 博昭、小笠原崇文、三神 良太、清水 哲治、新村 昌宏、内方 陽一、米田 幸雄

富樫理事挨拶

安全対策部担当理事の富樫です。会議開会にあたり一言挨拶申し上げます。

土曜日午後のお忙しい中、会議へ参加していただき誠にありがとうございました。今シーズンにおいて、重要な規程や検定種目等の改正があり、その改正内容をよく理解していただき、事業運営がスムーズに進められるよう専門委員全員で情報共有し、各事業の運営に努めてください。

また今年は役選で安対部専門委員 2 名の入れ替わりがありました。北海道は影山さんの代わりに後藤さん、東北ブロックは遠藤さんの代わりに宮城の三神さんが選任されました。お二人には期待しています。技術員も入れ替わりがあり、9 名が新たに選任されました。こちらも期待する次第です。

さて、安全対策に係る規程等も沢山見直されました、研修規程、検定規程、実施要領など、特に検定に関わるところの改正点をしっかりと押さえてもらいたいと思います。

さらに、パトロール規程もここ数年でだいぶ変更となっています。専門委員はこれら規程の最新版を手にして変更点等を確認してほしいと思います。特に検定規程については検定や養成講習実務に関わってくるのでしっかりと把握してほしいと思います。

次に、今シーズンにおいて、安対部部長、委員長をはじめ計 4 名による受検者ハンドブック、映像が作成され、近日中に SAJ ホームページにアップされる予定です。各自確認願います。

また来シーズンに向けて、新教程を作ることになりました。原稿の入稿期限が決まっていることから、大至急作業しなければなりません。部内で作業部会を立ち上げて検討を始めました。この作業は各専門委員、他団体の方々に協力してもらい完成させていきたいと思っています。よろしく願います。

最後になりますが、事業実施に関らず専門委員は様々な方から見られています。一挙手一投足に気を配り、万全を期して臨んでほしいと思います。

以上で担当理事の挨拶とします。よろしく願います。

議題

1 2023 年度事業報告について、次のとおり報告された(上杉部長)

- 安全対策委員会専門委員会議・全国安全対策委員長会議・スキーパトロール中央研修会・各ブロックスキーパトロール技術員研修会・公認スキーパトロール検定会・直轄事業パトロール研修会・加盟団体主管パトロール研修会・受検者のためにスキーパトロール撮影、各項目について。

2 2024 年度事業計画について、次のとおり説明された(上杉部長)

- 全国安全対策委員長会議・スキーパトロール中央研修会・各ブロックスキーパトロール技術員研修会・公認スキーパトロール検定会・SAJ 直轄事業パトロール研修会・加盟団体主管パトロール研修会・研修課題撮影、各項目について。

また事業計画に係る補足として次の 4 項目の説明があった。(上杉部長)

(1)事業計画補足事項1

- 公認パトロール検定会について

理論試験はマークシート方式を継続、スキー実技試験は種目数と内容を変更した。

受検者ハンドブック別表①、②参照

変更後の種目はブルークボーゲン、横滑り、パラレルターン(小回り、大回り)の 4 種目、搬送技術(制限搬送、真下搬送)の 2 種目となる。

採点基準について理論試験は 100 点満点とし、60%以上を合格。スキー実技テストは検定員 3 名の平均値とし、6 種目の合計が 450 ポイント以上を合格。

会期は 2 日間に短縮、初日実技試験、2 日目理論試験を想定。

(2)事業計画補足事項 2

- 申込要件の特例措置について
新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置について、今シーズンも「赤十字ベーシックライフサポート認定証」取得又は見込みを申込要件とした。
- 新検定に伴う移行措置について
2024年度の規程改正前の養成講習会修了受検者に対して、講習内検定種目（「受検者ハンドブック」公認スキーパトロール検定及び養成講習の実施要領別表④⑤⑥参照）の検定を検定会会期中に実施する。
- 次年度以降の検定会開催について
検定会開催を加盟団体へ移行を検討したが、まだ加盟団体開催ではなくパトロールは全国区的な資格付与という観点から、SAJ直轄での開催が妥当という結論となり今シーズンにおいても現行どおりとする。
また次シーズンからスノーボード使用による受検について準備中。

(3)事業計画補足事項 3

- 公認スキーパトロール養成講習会について
講習時間、加盟団体が実施については変更なし。ただし、検定テスト種目であった3種目（片開きプルーク、救急法テスト、ロープ操法テスト）を講習内検定として実施。実施要領は「受検者ハンドブック」公認スキーパトロール検定及び養成講習の実施要領別表④⑤⑥を参照すること。
養成講習者数に応じて検定員は養成講習会の講師1名以上で行う。
救急法テストの止血法について、取扱いを次の内容に統一していくことを提案。
 - ①直接圧迫止血法「左右どちらかの前腕の出血部位を直接圧迫止血する」
 - ②止血帯止血法（三角巾と止血棒使用）「左右どちらかの上腕部で止血帯止血する」
 - ③止血帯止血法（ターニケット使用）「左右どちらかの大腿部で止血帯止血する」
 左右の選択は主任講師の判断とする。

(4)事業計画補足事項 4

- 講習内検定の注意点について
検定員は安全対策部専門委員、SAJスキーパトロール技術員が行う。
採点については、100点満点中「片開きプルークは75%以上」「救急法テストは三角巾包帯法（バディー方式）」「止血法はターニケット（各加盟団体で準備）を使用75%以上」「ロープ操法テスト75%以上」で合格とする。

3 受検者ハンドブックについて

- 受検者ハンドブックの内容について、画面で確認し上杉部長より説明された。

4 その他 審議事項について説明し審議した。（上杉部長）

(1)全国安全対策委員長会議について内容の説明

- 参加者は各加盟団体安全対策委員長もしくは代理、オブザーバーでJSPA会長の遠藤氏へ出席依頼、SAJ担当理事、部長、安全対策専門委員。議事進行は川内委員長。議題は事業計画について、研修課題について、受検者ハンドブックについて、加盟団体より審議事項、報告事項として、2023年度事業報告、各加盟団体より報告事項の内容で進めていく。

「全員承諾した」

(2)安全対策部運営方針について

安対部運営方針の内容について説明（上杉部長）

- 新教程のプロジェクトチームを立ち上げたが各専門委員にも協力を要請。
- バックカントリーの安全対策について。現場の声を聴きながら法的な基盤を背景に持った全体設計のある安全対策を構築していく必要がある。
- FIPSとの連携強化について。今後はSAJ（安対部）主導で進めていくか方向性を明確にしていく必要性が出てきている時期となっている。
- スキーパトロールの地位向上について。
スキーパトロールのスキー場での地位向上を図るため、公パトにベーシック課程（現行の資格や安全対策に係る基礎的なもの）やプロフェッショナル課程（ロープレスキュー、高度救助技術の取得等）を設置する制度を検討する。
「新教程以外の内容については、各自今後の検討事項として進めていく。」

(3)教程の改訂について

- 発刊時期は 2024 年秋頃を予定。この発刊時期に合わせて内容や資料収集、編集作業を部会で進めていく。

「全員承諾した」

(4)研修課題について

- 研修課題については新教程と併せた内容を検討する。また昨年と変更なし。見直しの際は新教程がベースとなり、具体的な時期が来たら専門委員会議で議論していく。

「全員承諾した」

(5)その他

- スキーパトロール総会について
大切な情報交換の場であり、昨シーズンの研修内容からスキーパトロール技術向上のために大会復活も良いのではないかと？

「検討事項とする」

- 受検者数の向上について
受検者が受けやすい環境を作ることが必要。今後の開催会場の課題。
「環境の整備は今後の検討事項、開催会場選択について年度中に確定するよう検討とする」
- 2024 年度の役員配置について
中央研修会、技術員研修会参加者が各事業を担当する。

「全員承諾した」

【全体を通しての説明、質疑事項】

富樫理事

- 研修規程変更点についての説明があった。養成講習会の単位について確認した。規程の変更点については近日中配布を予定している。各自規程をよく理解すること。

新井副委員長

- 2022 年 12 月 10 日ハンターマウンテンでの衝突事故についての情報提供。警察から県連、スキー場への事情聴取があり、警察が加害者へ傷害罪の立件を検討中。
このような事案が多くなるのではないかと？ 今後は動向を見て委員長会議へ発表することも検討している。

後藤専門委員

- 検定会会場の加盟団体開催の移行を要望。各課題について検討を要請。

小笠原専門委員

- 今期検定会開催の確認につて質問があり、受検者の宿泊については合宿制にはしないこと、情報掲示、伝達の方法について提案及び斜面設定の説明がなされた。

以上で専門委員会議を終了とした。

なお、今回出た検討事項については、中央研修会で再度議論し、各ブロック技術員研修会で伝達していく。

■ 全国安全対策委員長会議

【日 時】 2023 年 10 月 28 日(土) 13:00～15:00

【場 所】 オンライン会議

【運営役員】 富樫泰一担当理事、上杉一哲、川内慎吾、新井和夫、後藤博昭、三神良太、清水哲治、
新村昌宏、内方陽一、米田幸雄

【出席者】 加盟団体安全対策委員長(または代理)、日本スキーパトロール協議会(遠藤会長)

司 会 【川内委員長】

1. 出席者紹介

出席確認を兼ねて、各出席者による自己紹介(下記参照)

(公財)全日本スキー連盟役員

担当理事: 富樫 泰一

安全対策部部長: 上杉 一哲

安全対策委員長:川内 慎吾、副委員長:新井 和夫

安全対策専門委員:後藤博昭、三神良太、清水哲治、新村昌宏、内方陽一、米田幸雄

加盟団体安全対策委員長(または代理)*を除いて21名

- | | | | |
|-------------------|------------|-----------|-------|
| 1. 北海道 | 安全対策部長 | 山森智文・副部長 | 山村 誠 |
| 2. 青森県 | 安全対策委員 | 工藤雅人 | |
| 3. 宮城県 | 安全対策委員長 | 三神良太* | |
| 4. 秋田県 | 安全対策部 | 大石智恵 | |
| 5. 山形県 | 安全対策部委員長代理 | 高橋弘一 | |
| 6. 福島県 | 安全対策部長 | 遠藤秀明 | |
| 7. 茨城県 | 安全対策本部長 | 高瀬勝則・副本部長 | 久保田稔 |
| 8. 栃木県 | 安全対策部長 | 新井和夫* | |
| 9. 群馬県 | パトロール技術員 | 星野登志夫 | |
| 10. 埼玉県 | 安全対策委員長 | 佐藤俊寿 | |
| 11. 東京都 | 安全対策副部長 | 酒井潤 ・部長 | 清水哲治* |
| 12. 神奈川県 | 安全対策委員長 | 上杉一哲* | |
| 13. 山梨県 | 安全対策委員長 | 林 譲 | |
| 14. 長野県 | 安全対策部委員長 | 新村昌宏* | |
| 15. 新潟県 | 安全対策委員長 | 川内慎吾* | |
| 16. 富山県 | 安全対策部長 | 奥田純 | |
| 17. 石川県 | 安全対策部本部長 | 吉本幸司 | |
| 18. 福井県 | 安全対策部事務局 | 前田初志 | |
| 19. 静岡県 | 安全対策委員長 | 山田俊明 | |
| 20. 愛知県 | 安全対策部長 | 福岡優子 | |
| 21. 岐阜県 | 安全対策部専門委員 | 内方陽一* | |
| 22. 滋賀県 | 安全対策部長 | 長尾卓哉 | |
| 23. 京都府 | 安全小委員会委員長 | 小堀智由 | |
| 24. 兵庫県 | 安全対策委員長 | 米田幸雄* | |
| 25. 広島県 | 安全対策委員長 | 平川朝水 | |
| 26. 日本スキーパトロール協議会 | | 会長 | 遠藤正 |

2. 資料確認

司会の川内委員長により、配布資料の確認を行った

- (1)2024SAJ 教育本部安全対策部事業計画【資料-1】
- (2)SAJ 教育本部安全対策部研修課題 ハンドブック【資料-2 SAJ HP・画面】
- (3)2024SAJ 教育本部 「受検者ハンドブック」【資料-3 SAJ HP・画面】
- (4)各加盟団体からの審議事項【資料-4 画面】
- (5)各加盟団体報告【事前提出資料】【資料-5 画面】
- (6)2023 安全対策パトロール部事業報告【資料-6】

3. 開会宣言 安全対策部部长 上杉一哲

皆様お疲れ様です。

これより2024年度全国安全対策委員長会議を開催いたします。本日はよろしく願いいたします。

4. 担当理事あいさつ 富樫泰一 教育本部理事

公益財団法人全日本スキー連盟教育本部理事の富樫です。

本日はシーズン突入直前の重要な時期における会議にご参加いただき誠にありがとうございます。

この会議は、シーズン初めに各加盟団体の安全対策委員長様や日本スキーパトロール協議会会

長の遠藤正様にご出席いただいて、スノースポーツの安全対策やスキー場の安全管理等について情報交換するとともに SAJ 事業の円滑な運営のため、各種事業に対するご理解とご協力を得る大変重要な場でもあります。

特に今シーズンは、検定関係規程の大幅な改正によって、受検者へのきめ細かな対応が不可欠なことから本会議でお知らせする説明の内容について十分理解されたうえで養成講習等の実施をお願いします。

今シーズンの主な事業としては、検定会は青森県大鱒温泉スキー場、スキーパトロール研修会は長野県志賀高原、兵庫県ハチ高原で開催されます。関係する加盟団体の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけしますがどうぞよろしくお願ひいたします。

また来シーズンの発行に向けて新しい教程の制作準備が始まりました。より良い教程となるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今シーズンは昨シーズンを上回るスキー客の増加が予想されることに伴い、スキー事故、傷害の増加が予想されることから万全の準備をお願いし、開会の挨拶とします。

本日はよろしくお願ひいたします。

5. 審議事項

(1) 2024 年度 SAJ 教育本部安全対策部事業計画について

上杉部長より資料 1 について事業計画の説明を行った

・中央研修会について

2 年前と同様にスキー、スノーボード、パトロールと分離開催となりました。

これに伴い、スキーパトロール中央研修会は、北海道会場、長野会場の 2 会場の開催となります。

・ブロック技術員研修会について

北海道会場(北海道ブロック対象)、長野会場(東北～西日本ブロック対象)の 2 会場での開催全国 2 会場で開催する(北海道及び北海道以外のブロックで分ける)会期は中央研修会と1日ずらして開催します。

・公認スキーパトロール検定会について

今シーズンより改正された検定制度を実施します。

会場は1会場で集約開催、会場は青森県大鱒温泉スキー場。改正により受検者の方々にはご不便をおかけするとは存じますがご理解のほどよろしくお願ひいたします。

検定制度改正につきましては登録会員数の減少に伴い受検者数も年々減少しており、事業の開催も困難な状況となってきたことから、事業内容の精査を行い、制度の改正をしました。

・SAJ 直轄スキーパトロール研修会について

昨シーズンと同様に東日本会場、西日本会場の 2 会場開催となります。会場と会期は資料のとおりで、パトロール総会は隔年開催のため今シーズンは実施しません。

・加盟団体主管スキーパトロール研修会について

団体から会期、会場は現時点では SAJ へ申請中となっています。

各加盟団体安対委員会の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

・研修課題等の撮影について

これは今シーズン SAJ ホームページから掲出される受検者ハンドブックへスノーボードを活用したパトロール育成のための検定会実技要領として作成予定です。

また併せて新教程のスチール写真や動画撮影も予定しています。

以上で 2024 年度安全対策部事業計画となります。

続きまして、事業計画に係る補足事項の説明です。

・検定会について

① 全般事項について

理論試験は、昨シーズンと同様にマークシート方式で試験時間は 60 分となります。

また合否の判定基準が改正されています。現行では 100 点満点で 70%以上が合格であったもの

が、60%以上が合格となります。

雪上実技につきましても改正しました。

改正前では、基礎種目「プルークボーゲン」「横滑り」「片開きプルーク」「パラレルターン小回り」「フリー滑走」の5種目、搬送種目「浅回り搬送」「大回り搬送」「真下搬送」の3種目、計8種目でした。

それを基礎種目「プルークボーゲン」「横滑り」「パラレルターン小回り」「パラレルターン大回り」の4種目に、搬送種目「制限搬送」「真下搬送」の2種目、計6種目に改正しました。

この実技の要領につきましては、受検者ハンドブックやSAJホームページ掲出の映像をご覧くださいただければと思います。

また片開きプルークと救急法テスト、ロープ操法テストは養成講習で講習内検定とし、検定会では実施しません。

②会期について

先ほどご説明させていただきましたが、2日間というタイトなスケジュールとなります。

具体的なスケジュール案としては、1日目で実技全てを実施、2日目午前中に理論テスト、午後合格発表の予定と事業要項ではご案内しています。

③申込み要件の特例措置について

今シーズンの特例措置と同様の扱い「赤十字ベーシックライフサポーター認定証」取得とします。

また新検定受検に伴う移行措置として、検定規程改正に伴い新検定を2024年度から実施することにより、同規程改正前の養成講習修了受検者は、講習内検定種目が未実施となることから、この未実施分を検定会会期中に実施します。要領は「受検者ハンドブック」公認スキーパトロール検定及び養成講習の実施要領別表④・⑤・⑥を参照していただきます。

加盟団体におかれましては、該当する受検者の把握をしていただき、検定会会場へロープ・三角巾を持参するよう指示をお願いいたします。

④2021年～2023年合格者でまだ救急員認定証未取得者の扱いについて

各加盟団体へお願いします。地元の合格者へ取得に関する指導をお願いします。

また養成講習未了者についても研修会を連続受講ということができていないと思われます、こちらも併せて対象者の把握と受講を促してください。

以上で事業計画の補足事項の説明を終了させていただきます。

「審議事項(1)について承認された」

(2)SAJ 教育本部安全対策部研修課題ハンドブックについて

上杉部長が資料2について事業計画の説明を行った。

2024年度については、お手持ちの「2023年度SAJ教育本部研修課題ハンドブック」を活用していただきたいと思います。内容に変更ございません。

「審議事項(2)について承認された」

(3)2024SAJ 教育本部「受検者ハンドブック」について

上杉部長が資料3「受検者ハンドブック」について画面を用いて説明を行った。

受検者ハンドブックは、今シーズン新しいものが出来上がり、養成講習や検定に関する事項を記載してあります。公認スキーパトロール受検養成講習に活用して欲しいと思います。

また内容について、実技テストにおいて、「パラレルターン大回り」「横滑り」「制限搬送」の変更した種目の実施要領の説明が記載されています。

※印になっている「特例措置」「受付等の年月日」の記載されていないことの詳細は、2024年安全対策部事業要項を参照いただければと思います。

以上で「受検者ハンドブック」についての説明とさせていただきます。

「審議事項(3)について承認された」

(4)各加盟団体からの審議事項について

「事前審議事項の申請は無く、質疑無し」

- (5)その他
特になし

6. 報告事項

(1) 各加盟団体報告について

出席している加盟団体が 2023 年度事業報告を発表した。

(2) 2023 年度安全対策パトロール部事業報告について

上杉部長が資料 6 について事業報告の説明を行った。

報告の中、データ未収集の加盟団体主管のパトロール研修会について、追加報告として各加盟団体(北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、東京都・神奈川県、山梨県、長野県、滋賀県、石川県、富山県)の各加盟団体 16 団体 21 事業が実施され、総申し込み者数 480 名でした。

以上で「2023 年度安対事業報告」についての説明とします。

(3) その他

次の質問等がありました。

【質問 1】 埼玉県スキー連盟 佐藤委員長

検定会の関係で、講習内検定の関係で3種目とも不合格となった場合についてはどのような対応をすれば良いか。①

検定会の申込みの関係で、「申込み時必要書類」で昨シーズンは「養成講習修了見込届」を提出となっているが、受検者ハンドブックでは加盟団体長名で養成講習修了見込書(A4 判、様式自由)とあるが、この対応についてどうなっているか。②

【回答 ①】川内委員長

12 月に開催される、ブロック技術員研修会において、講習内検定は合格 3 種目全ての合格をもって養成講習の修了並びに修了証発行の旨を伝達予定です。よって、養成講習修了証を検定会受付時に提出した受検者全員が講習内検定に合格されたものとして受付します。

しっかりと講習中の指導をお願いします。

【回答 ②】上杉部長

ハンドブック内の文言につきましては、様式が統一となったことから、SAJ ホームページの最初に訂正についてのお知らせを掲出しました。訂正後の内容は「赤十字救急法救急員又は赤十字ベーシックライフサポーター、救急 I 課程以上を取得見込みの場合は、赤十字・消防関係資格取得見込届(別添様式参照)」と「受検年度に養成講習修了見込みの場合は、養成講習修了見込届(別添様式参照)」となっています。これを受検者がダウンロードして対応してもらうこととなっています。

ホームページで訂正後の文言をご確認ください。

「佐藤委員長 ①、②について了承した」

【質問 2】 広島県スキー連盟 平川委員長

昨シーズンの委員長会議で言及した、スノーボードやテレマークでの受検についての進捗状況について教えてほしい。

【回答】 上杉部長

事業計画の説明でスノーボードの検定種目の撮影を行うとお話しましたが、スノーボードによるスキーパトロール受検に向けて進めています。単に検定だけではなく、スノーボードを使用した研修会や養成講習会の実施方法等も十分調整していく必要があるため、しっかりと決めごとを作るため慎重に進めている。またテレマークでの受検については、一度に全部を実施するというより、一つ一つしっかりと決めていく必要があるため、今回は見送ることとします。

「平川委員長 了承した」

【栃木県スキー連盟 新井委員長より情報提供事項】

昨シーズン、栃木県内のスキー場でスキーヤーとスノーボーダーの衝突事故が発生し、スキーヤーは SAJ1級を所持していた。スキーヤーが後方から衝突したということで、過失傷害罪を警察が立件できるか、県連へ意見聴取があった。このような事故で過失傷害罪になる案件が全国的に出てくる可能性があることを情報として提供する。前方不注意としての過失責任か？との質問にたいして、前方不注意より相手がけがをしたことの結果責任についての刑事責任追求の方向で進んでいるとのこと。後方から来てぶつかったということの起訴内容としているとのこと、今後も県連への意見聴取がある。内容はスキーにはどのような資格があるのか等の意見聴取である。ここに参加している皆さんのところも何時このような事故による事例が出てくる可能性があることから、注意をすべきと思う。以上情報提供します。

【質問 3】 岐阜県スキー連盟 内方安対委員

検定会合格者へ養成講習未修了の場合、研修会は SAJ 直轄研修会でなければならないか？

【回答】 上杉部長

特に SAJ 直轄、加盟団体主管は問わない

「内方委員 了承した」

【上杉部長より】

最後に事業要項へ記載されている中で、いろいろ規程の改正があったので、受検者が困惑しないようよく内容を確認し伝えてほしいと思います。例として、検定会受付時には公的本人確認書類（運転免許証、パスポート、マイナンバーカード、健康保険証のいずれか 1 点）が必要となるなどがあります。

【日本スキーパトロール協議会 遠藤会長より】

毎年のことですが、JSPA 総会の報告ということでお礼申し上げます。

今年の第 51 回 JSPA 総会は 8/26-27 広島県安芸で開催されました。鳥取県以来 10 年ぶりの西日本での開催。広島県スキー連盟会長、理事長を来賓として迎え、盛大に開催できました。

ありがとうございました。

来年の第 52 回 JSPA 総会は長野県蓼科で開催されます、皆様のご参加をお待ちしています。

また毎年検定会では JSPA の役員がお邪魔し SAJ のご配慮により入会手続きをさせていただいております。ありがとうございます。

今後ともパトロール協議会をよろしく願います。

7. 閉会宣言 安全対策部副委員長 新井和夫

皆さん大変お疲れさまです。これで全国安全対策委員長会議の閉会を宣言します。

■ スキーパトロール中央研修会①、北海道ブロック技術員研修会

今年度の中央研修会は、2022 年度と同様なスキー・スノボ・パトロールそれぞれが日程・場所を分散した開催となりました。

中央研修会終了後、引き続きブロック技術員研修会を併催しました。

<スキーパトロール中央研修会①>

【会期】	2023 年 11 月 30 日(木)～12 月 3 日(日)
【集合】	11 月 30 日(木)17:00 集合
【会場】	北海道 札幌国際スキー場
【宿舎】	定山溪万世閣 ホテルミリオナーネ 〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東 3 丁目 TEL 011-598-3500 FAX 011-595-2131
【責任者】	土田教育副本部長

【参加者】	主任講師:上杉 一哲、新井 和夫、後藤 博昭
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容・規程改正等の周知 2. スキーパトロール技術員研修会・検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

11月30日(木)

16:00～ 集合

17:00～18:00 理論研修Ⅰ 検定種目改正にかかる確認事項

20:00～21:00 北海道ブロック研修会運営会議

12月1日(金)

09:30～12:00 実技研修Ⅰ 講師スキー研修

13:00～15:00 実技研修Ⅱ 検定種目改正に係る確認事項(基礎種目・講習内検定・搬送種目)

16:00～17:30 理論研修Ⅱ 活動方針、事業内容、規程改正等の周知、受検者ハンドブックの確認

19:00～20:00 理論研修Ⅲ 検定内容(ロープ操法テスト、救急法テスト)の確認

12月2日(土)

09:30～11:30 合同研修 北海道スキー連盟ブロック開会式、スキー基礎種目デモンストレーション

13:00～15:00 実技研修Ⅳ (北海道ブロック技術員併催)

検定種目改正に係る確認(アキヤ搬送種目)

15:00～17:00 実技研修Ⅴ (北海道ブロック技術員併催)ロープ操法、救急法(三角巾)

理論研修Ⅳ (北海道ブロック技術員併催)活動方針、事業内容、規程改正等の確認

12月3日(日)

09:00～14:00 実技研修Ⅵ (北海道ブロック技術員併催)検定種目改正に係る確認事項

基礎種目(ブルークボーゲン・横滑り・大回り・小回り)

講習内検定種目(片開きブルーク)

14:00～15:00 閉会式

【所見】

今年度の中央研修会は、2022年度と同様なスキー・スノーボード・パトロールそれぞれが日程・場所を分散した開催となりました。

スキーパトロール中央研修会としては、北海道ブロック技術員研修会の会期が今期中央研修会より前となることから、該当する専門委員に対してパトロール中央研修会としての研修を行う、特別措置を講じていただき部長・副委員長が北海道へ赴き対応しました。

中央研修会として、①、②で整合性を図ったものとし、専門委員全員の共通認識を得るものとなりました。

特に検定種目の改正に伴い種目の内容を確認し、養成講習会時に配慮すべきポイントの共通理解を図ることとしました。このことは、北海道ブロック技術員へ研修会で伝達しました。

日程後半は北海道ブロックスキーパトロール技術員と併催で研修会を実施しました。

会場について、スキー場関係者のご尽力により、積雪・斜面状況等大変良い条件での雪上研修で確認作業ができました。

理論研修も充実したものとなり、中央研修会②(東北～西日本ブロック)の専門委員を含めた、全員で整合性を図ったものとして、共通認識を得るものとします。

ご協力いただいた、札幌国際スキー場及び定山溪万世閣ホテルミリオーネに感謝し報告とします。

■スキーパトロール技術員研修会

<北海道ブロック>

【会期】	2023年12月1日(金)～12月3日(日)
【会場】	北海道・札幌国際スキー場
【宿舎】	定山溪万世閣ホテルミリオーネ 〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL 011-598-3500 FAX 011-595-2131
【責任者】	土田教育副本部長

【役員】	主任講師:上杉 一哲講師:新井 和夫、後藤 博昭
【参加者】	北海道ブロックスキーパトロール技術員(15人)
【事業の目的】	1.安全対策部の活動方針・事業内容・規程改正等の周知 2.スキーパトロール技術員研修会・検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【日程】

- 12月1日 09:00～15:00 講師実技研修
16:00～17:00 集合
- 12月2日 09:00～11:30 合同研修(デモンストレーション)
10:30～11:00 開会式
13:00～15:00 (中央研修会①と併催)実技研修Ⅰ(検定種目改正に係る確認)
15:00～17:00 (中央研修会①と併催)実技研修Ⅱ(ロープ操法・救急法)
(中央研修会①と併催)理論研修Ⅰ(活動方針、事業内容、規程改正等の確認)
- 12月3日 09:30～14:00 (中央研修会①と併催)実技研修Ⅲ(検定種目改正に係る確認事項)
基礎種目(ブルークボーゲン・横滑り・大回り・小回り)、講習内検定種目(片開きブルーク)
14:00～15:00 閉会式

【所見】

今年度は、スキーパトロール中央研修会が①、②と分離開催のため中央研修会①が当該技術員研修会と併催となりました。安対部専門委員による安全対策部研修課題、新検定会種目の確認(着眼点等)を行い、良好なバーン状況も手伝い、雪上実技について十分な成を上げられました。室内実技(ロープ・救急法)、片開きブルークは、今年度の検定から講習内検定として実施することとなり、特に救急法テストは、対面での実施となるため内容をしっかり受検者へ指導できるよう研修を通じて伝達しました。合同研修では、デモンストレーションによるスキー指導者研修課題を確認した後、研修テーマに沿ってポイントとなる技術要素の理解を深めました。実技研修Ⅰ、Ⅲでは、スキーパトロール検定種目の改正について、種目の着眼点と実技指導要領を確認しました。実技研修Ⅱでは、特に救急法テストは対面での実施となるため内容をしっかり受検者へ指導できるよう研修を通じて伝達しました。理論研修については、安全対策部の活動方針やシーズン中の事業内容、規程改正等について講義を行い理解を深めました。



特に、新検定種目の着眼点を、北海道、東北～西日本ブロックにおいて共有することを図り、次週の東北～西日本ブロック研修会へ繋がる研修となりました。

ご協力いただいた、札幌国際スキー場及び定山溪万世閣ホテルミリオーネに感謝し報告とします。

■ スキーパトロール中央研修会②、東北、北関東、南関東、甲信越、東海・北陸、近畿、西日本ブロック技術員研修会

今年度の中央研修会は、2022年度と同様なスキー・スノボ・パトロールそれぞれが日程・場所を分散した開催となりました。

中央研修会終了後、引き続きブロック技術員研修会を併催しました。

<スキーパトロール中央研修会②>

【会期】	2023年12月7日(木)～12月10日(日)
【集合】	12月7日(木)16:00 集合
【会場】	ピラタス蓼科スノーリゾート
【宿舎】	長野県・ピラタス蓼科スノーリゾート

	〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL 011-598-3500 FAX 011-595-2131
【責任者】	白石教育本部長、富樫担当理事
【役員】	主任講師 上杉 一哲、 講師:八重樫 圭一(N デモ)、川内 慎吾、新井 和夫
【参加者】	小笠原 崇文、三神 良太、新村 昌宏、清水 哲治、内方 陽一、 米田 幸雄
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容・規程改正等の周知 2. スキーパトロール技術員研修会・検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【日程】

12月 7日(木)

16:00～ 集合

17:00～18:00 理論研修Ⅰ 検定種目改正に係る確認事項

19:45～21:00 実技研修Ⅰ 講習内検定に係る確認事項(救急法テスト、ロープ操法テスト)

12月 8日(金)

10:00～12:00 実技研修Ⅱ 検定種目改正に係る確認事項(基礎種目・搬送種目)

13:00～15:00 実技研修Ⅲ 基礎スキー研修課題(八重樫 N デモ講師)

17:30～18:30 中央研修会②、東北～西日本ブロック技術員研修会合同開会式

18:30～19:30 理論研修Ⅱ (ブロック技術員合同) 基本動作を見直す(八重樫 N デモ講師)
「ポジショニング」「荷重動作」「エッジング」の理解

20:30～21:30 実技研修Ⅳ (ブロック技術員合同) 検定内容の確認(ロープ操法・救急法)

12月 9日(土)

09:30～11:30 実技研修Ⅱ 「ブロック技術員研修会併催」
(N デモ班 基礎スキー課題研修)
(パトロール技術班 基礎種目・搬送種目)

13:00～15:00 実技研修Ⅲ「ブロック技術員研修会併催」
(N デモ班 基礎スキー課題研修)
(パトロール技術班 基礎種目・搬送種目)

16:30～17:30 実技研修Ⅳ 「ブロック技術員研修会併催」(検定種目 基礎種目・搬送種目)

17:30～18:30 理論研修Ⅱ 「 」(研修課題について)

18:30～19:00 理論研修Ⅲ 「 」(2024年度役員配置について)

20:30～21:30 理論研修Ⅲ 「 」(日赤職員による講義)

12月 10日(日)

09:00～12:00 実技研修Ⅴ 「ブロック技術員研修会併催」(検定種目の確認(アキヤ搬送))

12:00 閉会式

【所見】

今年度の中央研修会は、2022年度と同様にスキー・スノボ・パトロールそれぞれが日程・場所を分散した開催となりました。

スキーパトロール中央研修会としては、北海道ブロック技術員研修会の会期が今期中央研修会より前となることから、該当する専門委員に対してパトロール中央研修会としての研修を行う、特別措置を講じていただき部長・副委員長が北海道へ赴き、対応しました。

中央研修会としては、①・②ともに整合性を図ったものとし、専門委員全員の共通認識を得るものとなりました。特に検定種目の改正に伴い種目



の内容を確認し、養成講習会時に配慮すべきポイントの共通理解を図ることができました。このことは、各ブロック技術員へ研修会で伝達しました。

日程後半は東北～西日本ブロックスキーパトロール技術員と併催で研修会を実施しました。会場について、スキー場関係者のご尽力により、積雪・斜面状況等条件が大変良い条件での雪上研修で確認作業ができました。理論研修も充実したものとなり、中央研修会①、②、研修会参加者全員で整合性がとれた共通認識を得ることができました。今年度も引き続き、パトロール技術の他、N デモを講師に招き、スキー指導者研修課題についても研修ができ、十分な成果が認められました。また今回スキーパトロール中央研修会②において、オブザーバーとして日本赤十字社の職員 2 名、赤十字のボランティア講師 1 名が参加して交流を深めました。

ご協力いただいた、ピラタス蓼科スノーリゾート及び蓼科グランドホテル「滝の湯」に感謝し報告とします。

■ スキーパトロール技術員研修会

<東北、北関東、南関東、甲信越、東海・北陸、近畿、西日本ブロック>

【会期】	2023年12月8日(金)～12月10日(日)
【集合】	12月8日(木)16:00 集合
【会場】	ピラタス蓼科スノーリゾート
【宿舎】	長野県・ピラタス蓼科スノーリゾート 〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL 011-598-3500 FAX 011-595-2131
【責任者】	白石教育本部長、富樫担当理事
【役員】	主任講師 上杉 一哲、 講師:八重樫 圭一(Nデモ)、川内 慎吾、新井 和夫、小笠原 崇文、 三神 良太、新村 昌宏、清水 哲治、内方 陽一、米田 幸雄
【参加者】	東北、北関東、南関東、甲信越、東海・北陸、近畿、西日本ブロック スキーパトロール技術員 30名 オブザーバー:日本赤十字社職員2名、赤十字のボランティア講師1名
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の周知 2. スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【日程】

12月8日(金)

16:00 受付

17:30～18:30 開会式

18:30～19:30 理論研修Ⅰ「中央研修会②併催」(八重樫 N デモによる講義)

20:30～21:30 実技研修Ⅰ「中央研修会②併催」(ロープ・救急法)

12月9日(土)

09:30～11:30 実技研修Ⅱ「中央研修会②併催」

(N デモ班 基礎スキー課題研修)

(パトロール技術班 基礎種目・搬送種目)

13:00～15:00 実技研修Ⅲ「中央研修会②併催」

(N デモ班 基礎スキー課題研修)

(パトロール技術班 基礎種目・搬送種目)

16:30～17:30 実技研修Ⅳ「中央研修会②併催」(検定種目 基礎種目・搬送種目)

17:30～18:30 理論研修Ⅱ「中央研修会②併催」(研修課題について)

18:30～19:00 理論研修Ⅲ「中央研修会②併催」(2024年度役員配置について)

20:30～21:30 理論研修Ⅲ「中央研修会②併催」(日赤職員による講義)

12月10日(日)

09:00～12:00 実技研修 v 「中央研修会②併催」(検定種目の確認(アキヤ搬送))

12:00 合同閉会式

【所見】

今年度は、スキーパトロール中央研修会が①、②と分離開催のため中央研修会②が当該技術員研修会と合同での開催となりました。

研修会へは前年度に引き続き、ナショナルデモンストレーター(八重樫圭一氏)を派遣していただき、基礎スキー研修課題からパトロール技術へ転換できる方法等について伝達していただきました。また、安対部専門委員による安全対策部研修課題、新検定種目の確認(着眼点等)を行い、良好なバーン状況も手伝い、雪上実技について十分な成果を上げられました。室内実技(ロープ・救急法)、片開きプルークは、今年度の検定から講習内検定として実施することとなり、特に救急法テストは、対面での実施となるため内容をしっかり受検者へ指導できるよう研修を通じて伝達しました。

理論研修では、昨年度より実施したマークシート方式について問題と解答方法について、十分に説明し、養成講習会の指導へ反映できるように確認しました。

ロープアクセス研修については、新検定種目の理解度を深めるため及びアキヤ搬送の指導のため今回は見合わせました。

ご協力いただいた、ピラタス蓼科スノーリゾート及び蓼科グランドホテル「滝の湯」に感謝し報告とします。



■公認スキーパトロール検定会

【会期】	2024年3月2日(土)～3月3日(日)
【集合】	2024年3月1日(金)16:00 集合
【会場】	青森県・大鰐温泉スキー場
【宿舎】	大鰐温泉四季の湯不二やホテル 〒038-0212 青森県南津軽郡大鰐町大字蔵館字川原田 63 TEL 0172-48-3221 FAX 0172-47-5085
【責任者】	白石教育本部長
【役員】	主任検定員:上杉 一哲 総務主任:小笠原 崇文 検定員:新井 和夫、三神 良太、藪 智樹、竹原 伸郎、花井 忍
【申込者】	55名(欠席3名)
【事業の目的】	本検定会は、公認スキーパトロール検定規程に基づき、スノースポーツを楽しむすべての人々に、高品質で安全・安心なサービスを提供できるスキーパトロールを認定することを目的とします。

【日程】

3月1日(金)

16:00～ 役員集合 事前打合せ

3月2日(土)

08:00～09:00 受付(雨池スキーセンター レストラン入口)

09:10～09:40 開会式(雨池スキーセンター レストラン)

10:00～12:00 基礎種目検定(雨池国際コース)

横滑り・パラレルターン(大回り)



プルークボーゲン・パラレルターン(小回り)

12:00～13:00 昼食(各自)

13:00～15:30 搬送種目検定(パラダイスゲレンデ)

真下搬送・制限搬送

3月3日(日)

09:00～10:00 理論テスト(会場 十和田の間及び岩木の間)

12:00～13:00 合格発表・諸手続き説明(十和田の間及び岩木の間)

①主任検定員講評

②閉会式

③庶務連絡

【所見】

今年は、暖冬による雪不足のため当初予定していた会場での開催が危ぶまれたが、地元青森県スキー連盟・スキー場関係者のご尽力のおかげで無事当初の予定どおり開催できました。また会期・開催会場数の縮小、検定種目や採点基準の改正があり、このことは役員全員が事前に綿密な打ち合わせを行い備えたことにより、受検者が戸惑わない情報発信ができ検定会は万全な体制で開催できました。

「検定会の内容について」

実技テスト:受検者間で練習不足による技術練度の差が出ており、特に基礎種目(横滑り)の技術習熟度が低く、それが搬送種目にも影響が出ていることが見受けられました。

理論テスト:マークシート方式で実施し3シーズン目を迎え学習方法が確立してきたことにより、受検者全体的に理論テストの成績が良くなってきたと思われます。

今後は、スキー技術(特に制動系)の習熟度の向上のための指導方法を検討していきます。不合格となった受検者には閉会式後、個別にその理由を説明し、来年度のチャレンジの意思を確認しました。

検定会全般を通して、スキー場関係者・地元県連のご協力のもと、事業が済々と運営され、怪我人もなく終了できたことに感謝いたします。



■公認スキーパトロール研修会 東日本会場

【会期】	2024年3月16日(土)～3月17日(日)
【集合】	3月15日(金)16:00 集合
【会場】	長野県・志賀高原一ノ瀬スキー場
【宿舎】	ホテル こだま 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原 TEL 0269-34-3331 FAX 0269-34-2559
【責任者】	富樫担当理事
【役員】	主任講師 川内 慎吾 総務主任 帯川 友紀子 講師:内方 陽一、新村 昌宏、清水 哲治、山川 正一、黛 弘治
【申込者】	27名(欠席2名)
【事業の目的】	教育本部の活動指針並びに今年度のスキーパトロール有資格者の研修課題を周知し、理解の徹底を図ると共に、スノースポーツにおける安全対策や事故防止、スキー場の安全管理等についての課題解決等の充実に資することを目的とします。

【日程】

3月15日(金)

16:00～18:30 役員集合・打合せ

3月16日(土)

07:30～08:30 受付(宿舎)

09:00～09:30 開会式(宿舎)

10:00～12:00 実技研修Ⅰ(屋内講習 外部講師)

13:00～15:00 雪上実技研修Ⅱ(班別講習)

3月17日(日)

08:30～14:30 雪上実技研修Ⅲ(アキヤボート搬送技術)

14:30～ 閉会式(ゲレンデ)

※理論研修については、e-ラーニングを視聴して終了とさせていただきます。

【所見】

開会式後、岳南広域消防本部山之内署の協力をいただき、救急講習を実施しました。内容は、衝突や転落時における頸椎損傷の疑いがある要救助者へ対し全身をバックボードやスクープストレッチャーを用いて行う固定ですが、まだ全国のスキー場では普及が進んでおらず、ほとんどの方が見るのが初めてで、見入るように講習を受けていました。午後からは、アキヤボート搬送の検定種目が変わった内容を確認のために実際の検定に近いコースセッティングで研修生に講習いたしました。



2日目は、9時30分から14時30分まで、班別での雪上実技講習を行いました。講習内容は、研修課題の理解と検定種目の確認を行い、特にプルークボーゲンや横滑りを中心に研修する班が多くありました。

2日間の研修で、教えられることは限られますが講師役員の指導のもと、大変充実した内容で研修することができました。これも、講習のために協力してくださいました志賀高原リゾート開発(株)様をはじめ、本部宿舎であるホテルこだま様の多大なる協力があり、無事に研修会を終了できたことに感謝します。

■公認スキーパトロール研修会 西日本会場

【会期】	2024年2月17日(土)～2月18日(日)
【集合】	3月16日(金)16:00 集合
【会場】	兵庫県・ハチ高原スキー場
【宿舎】	ロッジみやま 〒667-1100 兵庫県養父市ハチ高原 TEL 079-667-7131 FAX 079-667-7351
【責任者】	上杉一哲 安全対策部部長
【役員】	主任講師 米田幸雄 総務主任 勝田薫 講師:青木政明、平川朝水、福岡優子
【申込者】	51名(欠席0名)
【事業の目的】	教育本部の活動指針並びに今年度のスキーパトロール有資格者の研修課題を周知し、理解の徹底を図ると共に、スノースポーツにおける安全対策や事故防止、スキー場の安全管理等についての課題解決等の充実に資することを目的とします。

【日程】

2月16日(金)

16:00 役員集合・研修内容打合せ

2月17日(土)

08:00～09:00 受付

09:00～09:30 開会式 9:30～12:00 実技研修(スキー技術)

13:00～15:30 実技研修(アキヤボート搬送) 15:30～16:30 実技研修(雪崩捜索訓練)

2月18日(日)

09:00～11:00 実技研修(バックボード固定等救急法)

11:00～12:00 実技研修(一次救命処置)

13:00～13:30 閉会式

【所見】

スキー技術は、横滑りの確認・参加者により公パト所得年度が異なるので検定種目の練習と確認、搬送技術は真下搬送の切りかえでスタンスを変化させて、技術の確認を行いました。

アキヤボート搬送は、2人牽きで大回り搬送・浅回り搬送・真下搬送の練習、心停止状態の傷病者を想定して、2人牽きアキヤボート搬送で CPR を行いながらスノーモービルとの中継場所まで搬送する練習を行いました。

雪崩捜索訓練は、班ごとに分かれてビーコンを使用して捜索訓練を行いました。バックボード固定等救急法は技術員が指導を行いました。一次救命処置は、人形と AED を使用して練習を行いました。

理論研修については、e-ラーニングを視聴して終了としました。

ハチ高原スキー場様には、スキー技術・搬送技術を練習するバーンを提供していただき、パトロール隊の協力のもと有意義な講習ができました。

最後に、ハチ高原スキー場様のご協力により研修会が修了できたことに感謝して報告とさせていただきます。



■公認スキーパトロール研修会(加盟団体主管)

加盟団体主管の研修会が実施され、結果は以下のとおりです。

(1) 事業数 19 事業

(2) 実施団体

(公財)北海道スキー連盟、(一財)青森県スキー連盟、(一財)岩手県スキー連盟、宮城県スキー連盟、秋田県スキー連盟、山形県スキー連盟、福島県スキー連盟、茨城県スキー連盟、栃木県スキー連盟、群馬県スキー連盟、(公財)神奈川県スキー連盟((一財)東京都スキー連盟共催)、(NPO 法人)山梨県スキー連盟、(公財)長野県スキー連盟、岐阜県スキー連盟、石川県スキー連盟、島根県スキー連盟 (計 16 団体)

(3) 申込総数 423 名

(4) 分析

前年度比では、申込総数で約 12%減、実施団体数は同数、事業実施数は 3 事業減となりました。また個別統計では、東北・北陸ブロックで申込数の減が多く見受けられました。申込数減については、様々な理由があると想定されますが、増を見込むためには、減となる理由を参加者の声を集約し、それを十分に検証し、実施加盟団体への協力呼びかけ、研修会の内容・日程等の見直し、参加し易い環境づくりが必要と思われます。

次年度以降、安全対策部として SAJ 直轄事業の研修会も含め、事故防止・安全対策の推進のため、申込数の増加に向けた方策を継続して検討していきたいと思っております。

■新教程製作に伴うパトロール関係撮影会

【会期】	①2024年2月20日(火)～2月22日(木) ②2024年3月14日(木)～3月16日(土)
【集合】	①2月20日(火)16:00 集合 ②3月14日(木)22:00 集合
【会場】	①長野県 菅平スノーリゾート ②長野県 志賀高原一の瀬ダイヤモンドスキー場
【宿舎】	①長野県・ホテルニューダボス 〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-3790 TEL0268-74-2066 FAX0268-74-2711 ②長野県・ホテルこだま 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原 TEL:0269-34-3331 FAX: 0269-34-2559
【責任者】	富樫担当理事
【参加者】	主任 上杉 一哲、 川内 慎吾、新井 和夫、南 順正、元下大輔
【事業の目的】	スキー教程安全対編の新規製作に伴い、映像・写真の撮影

【概要】

当初予定していた会期では(会期①)荒天のため、計画していた画像の撮影が撮りきれず、担当理事、撮影会社(芸文社)、安全対策部で日程・会場の調整し、教育本部長承認後、会期②、会場②で撮り直しを実施しました。会期②では、天候に恵まれ、またスキー場のご協力により、計画していた画像の撮影(パトロール実技等)を無事に全て撮り終えることができました。



この映像等を活用した新教程製作へ取りかかることとします。

■2024 国際パトロール連盟(FIPS)総会派遣

【会期】	2024年4月21日(日)～4月28日(日)
【集合】	4月20日(土)20:00 集合
【会場】	スウェーデン リックスグレンセン
【宿舎】	ホテル リックスグレンセン 所在地 NORDANSTIGEN 8, 981 94 Riksgränsen, スウェーデン 電話番号 +46 980 641 00
【責任者】	富樫泰一(担当理事)
【参加者】	上杉一哲(安全対策部長)
【事業の目的】	世界各国のスキーパトロール並びに関係者と雪上安全に関する情報交換を行い、今後の日本におけるスキー安全対策、事故防止に反映すること

【概要】

2024/4/21 から 2024/4/28 までの 8 日間にわたり、スウェーデンのリックスグレンセンで、世界 16 の国と団体 総勢 150 名のスキーパトロール並びに関係者が参加し、雪上安全に関するトピックス (Medical/医学、Technology/技術、Avalanche/雪崩、Risk management/危機管理、Disabilities/障害、FIS との連絡、Rescue Dogs/救助犬) を専門家や関係者によるプレゼンと雪上で実践技術のワークショップ、参加者との情報交換が行われました。



以 上